

令和7年3月24日

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告書

春日井市立大手小学校

校長 坂 田 安 男

事業テーマ	「地域と共につくるみんなが通いたくなる学校づくり」 ～体力向上と豊かな感性の醸成を目指した取組を通して～	
取組の目的	- 地域の専門性の高い人材を講師として招き、多様な体験活動を通して、豊かな感性の醸成を目指す。 - 地域の方と共に学ぶ魅力ある授業や特別活動を行い「児童にとって通いたくなる学校」を目指して、不登校の改善につなげる。 - 持続可能な地域づくりを目指し「地域に開かれた学校」から「地域と共にある学校」へのステップアップを図る。	
区 分 (○印を付ける)	○新規事業・継続事業（総事業年数3年間、1年目）	
継続事業の場合、昨年度の課題を踏まえて対応した内容		
事業名	事業内容	実施時期
<特色ある教育に関する事業> ・豊かな感性の醸成 <不登校対策事業> <地域交流事業>	- 豊かな感性の醸成を目指して、地域の専門的な講師を招き、講座を行う。（いのちの学習、福祉体験、赤ちゃん先生など） - わくわくタイム（SST・SGE）を継続的に実施し、ソーシャルスキルを身に付けさせるとともに、自己肯定感を高める。 - ぽかぽかルーム（相談室）の協力者を募り、登校支援を充実させる。 - 地域の方から伝統文化を学んだり、地域の方に向けて将来の夢を発信したりする。（昔のジオラマ・ドリームマップ） - 地域の方に授業やクラブ活動、委員活	令和6年4月 ～令和7年3月

	動に参加していただき、地域の方と共に学ぶ機会を作る。（大手小サポーターズ）	
取組の成果 ・ 地域の多様な人材を積極的に学校活動に招き入れることで、児童たちの好奇心を刺激し、地域への関心を高める効果を生み出すことができた。地域の方々にとっても、児童との交流を通して活力を得られる機会となった。 ・ 地域の専門家による指導は、児童にとって貴重な学びの機会となり、学習意欲や探求心を高める効果があった。専門家との対話を通して、将来の夢や目標を明確にする児童も増えた。 ・ わくわくタイム（SST・SGE）の継続実施により、児童のソーシャルスキルが向上し、自己肯定感が高まった。 ・ ぽかぽかルーム（相談室）が、児童にとって安心できる居場所として活用されていた。相談しやすい環境が整い、多くの児童が悩みや不安を気軽に相談できるようになった。 ・ 地域の方の学校への参加により、地域と学校の連携が強化された。		
課題 ・ 今後も不登校児童のニーズに合わせた支援体制を構築していく。 ・ 新たな地域人材の発掘を進め、多様な活動を企画したい。		